

# 憲法しんぶん速報版

第107号

2005年1月28日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

## 「改憲国会にさせない」ための共同も

# 「5・3 憲法集会実行委」が行動開始

自民党の新憲法起草委員会が24日初会合を開きました。10の小委員会にわかれて改憲案の論議をおこない、3月末に小委員会ごとの報告書をまとめ、4月末までに森喜朗起草委員長の試案をまとめる予定です。憲法会議は、こうした動きにたいし、学習運動を徹底的に強化しつつ、共同の拡大に全力をあげることになっています。

## 共産、社民、民主議員も参加

1月21日の通常国会の開会日、憲法会議など8団体が事務局を構成する「5・3憲法集会実行委員会」は、国会内で『改憲国会にさせない』——行動のうねりを」と集会を開きました。集会は、改憲の動きが強まっているなか、「5・3集会」だけにとどめず、国民投票法案や自衛隊法改悪、あるいは憲法調査会の権限を逸脱した報告書作成の動きなど憲法改悪につながる企て動きなどにたいしても可能な共同行動を行おう、との実行委員会の申合わせにより開かれたもので、各団体から130名余が参加しました。

集会では、事務局8団体の構成メンバーからそれぞれの活動の報告が報告が行われるとともに、共産党の山口富

STOP 戦争するための人づくり  
輝け 憲法9条  
2005年2・11集会

◇日時 2月11日 13時30分

◇会場 星陵会館

◇内容

- ・9条改悪と新自由主義改革  
都留文科大 後藤道夫
- ・アジアの視点で憲法・教育基本法を考える 神奈川大 尹健次  
各分野からの発言

◇参加費 500円

富男衆院議員、社民党の福島瑞穂、民主主義の円より子、無所属の糸数慶子の各参院議員らが国民投票法案や憲法調査会をめぐる国会の動きを報告、陸海空20労組、NHKの番組改ざんとたたかっている市民団体、日本青年団協議会の代表らが連帯の発言をしました。

## 衆参調査会が報告書作成へ

**【衆議院憲法調査会】** 1月27日に開かれた幹事懇談会に、「最終報告書に向けての調査」日程が提案されました。2月3日から4週間にわたって、分野別のしめくり討議をおこなうというものです。そこでは、「(天皇の国事行為の範囲)を見直す必要があるか」、「国際協力についての規定のあり方」「非常事態(武力攻撃事態、自然災害等)」等、改憲に向けての論点整理となる報告書作成が意図されています。

この提案にたいし、共産党の山口富男議員は、「報告書は『調査の経過及び結果』を記載」(調査会規程)だけで改憲案の論点にすることは許されないと反対しましたが、自民、民主、公明の各党は多数で押し切りました。中山太郎調査会長は、会議後、「(報告書の)結論部分は、憲法を改正するかしないか、そこだ」と調査会の権限を逸脱する重大発言をおこなっています。

**【参議院憲法調査会】** 1月27日の幹事懇談会には、4月20日に報告書議決、27日に本会議報告など書き込んだ日程が提案されましたが、強い反対で決定されませんでした。当面は2月4日からの2院制にかんする小委員会の論議と平行し、2月9日から残されている統治機構の審議をおこなうことになりました。なお、報告書作成に向けては各党から1名ずつの代表をだして、作成の仕方を論議することにしました。

### 自民党・新憲法起草小委の体制

前文=中曽根康弘(元首相)／天皇=宮

## 第40回全国総会の日程を変更

「憲法しんぶん速報版104号」で憲法会議第40回全国総会を3月22日とお知らせしましたが、4月3日に変更します。詳細はあらためてご連絡します。

澤喜一(元首相)／安全保障及び非常事態=福田康夫(前官房長官)／国民の権利及び義務=船田元(元経企長官)／国会=綿貫民輔(前衆院議長)／内閣=林芳正(参議院議員)／司法=森山真弓(元法相)／財政=溝手頭正(参院議運委員長)／地方自治=大島理森(元農相)／改正及び最高法規=高村正彦(元外相)

## 過半数結集へ代表者会議

**【大阪】** 大阪憲法会議・共同センターは1月20日、「第3回団体・地域代表者会議と新春学習交流集会」を開き、182人が参加しました。

集会では、中央憲法会議の川村俊夫事務局長が「憲法問題をめぐる新たな情勢と広がる国民のたたかい」と題して講演。つづいて筆保勝大阪憲法会議事務局長が、大阪におけるこれまでの運動の到達点を報告するとともに、今後の課題として400万以上の府民過半数署名、1枚50円の「平和ポスター」普及大作戦、オーロラビジョン宣伝のためのカンパのよびかけなどをおこないました。

討論では、「あれこれの課題の一つではなく、最重点課題にして職場から過半数をつくる」(大教組)、「憲法を学べば学ぶほど熱くなる」(民青)など、活発な発言が相次ぎました